

2024年度

入学試験問題
(A日程午後)

国語

注意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 「開始」の合図で、1/5から5/5まで問題が印刷されていることを確かめなさい。
- 3 解答用紙に受験番号を書きなさい。名前を書いてはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙の指定された解答らん^{らん}に書きなさい。問題用紙に書いても得点になりません。
- 5 解答用紙はこの表紙の裏にあります。
- 6 「終了」^{しゅうりょう}の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。
- 7 問題および解答用紙は机の上に置き、持ち帰ってはいけません。

雲雀丘学園中学校

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学生の千穂は、塾へ行く途中、友人の山野真奈の両親が営むパン屋の前を通った。小学生の頃はよく焼きたてのパンをこちそうになっていたが、そのことを自分の母に注意されてからは立ち寄りなくなっていた。店前にいた山野の母に呼び止められて話すうち、学校でのことを思い出した。

「千穂、これ、【A】誰にも言っていないんだけど……あたし、お父さんみたいになりたいなって思ってるんだ。パン職人」
今日のお昼、一緒にお弁当を食べていた時、真奈がぼそりとつぶやいた。昼食の前、四時限めに、来年にひかえた受験に向けて志望校をどう決定していくか、どう絞っていくか、担任の教師から説明を受けたばかりだった。

「……高校受験というのは、ただの試験じゃない。きみたちの将来につながる選択をするということなんだ。具体的な職業までは無理としても、自分は将来、何がしたいのか、【B】どんな人間になりたいのか、そういうことをじっくり考えて進路を選択してもらいたい。自分の意志が必要なんだ。自分の将来を自分自身で選択するという意志をもってもらいたい」
いつもはのんびりしたクチョウの担任が、生徒一人一人の顔を見やりながら、きっぱりと言いきった。

意志をもってもらいたい。

その一言を千穂が心の中で反芻していた時、「パン職人」という言葉が耳に届いたのだった。

「なんかさ、うちのお父さん、普通のおじさんだけど、パンを作っている時だけは、どうしてだかっこよく見えるんだよね。作ったパンもおいしいし。お客さん、すごく嬉しそうに顔して買いに来てるんだよね。なんか、そういうの見てるといいかなって、すごくいいなって。もちろん、大変なものもわかっている。朝なんてめちゃくちゃ早いし、うちみたいに全部手作りだと、ほんと忙しいの。嫌だなあって思ってた時もあったんだけど……実はね、千穂」

「うん」

「この前、お父さんと一緒にパン、作ってみたの」

「へえ、真奈が？」

「うん。【C】売り物じゃなくて自分のおやつ用なんだけど、すごく楽しくて……あたし、パン作るの好きなんだって、本気で思った。だからね、高校卒業したらパンの専門学校に行きたいなって……思ってたんだ」

少しテレているのか、頬を赤くして真奈がしゃべる。そこには確かな自分の意志があった。

真奈って、すごい。

心底から感心してしまう。すごいよ、真奈。

真奈が顔を覗き込んでくる。

「千穂は画家志望だよ。だったら、【D】芸術系の学校に行くの？」

「え……あ、それはわかんない」

「だって、千穂、昔から言ってたじゃない。絵描きさんになりたいって。あれ、本気だったでしょ？」

「……まあ、でも、それは……」

夢だから。口の中で呟き、目を伏せる。うつむいて、そっと唇を噛んだ。

山野のおばさんに頭を下げて、また、歩きます。さつきより少し足早になっていた。

花屋、喫茶店、スーパーマーケット、ファストフードの店、写真館……ミナれた街の風景が千穂の傍らを過ぎていく。足が止まった。

香りがした。とてもいい香りだ。焼きたてのパンとはまた違った芳しい匂い。

立ち止まったまま視線を辺りに巡らせた。写真館と小さなレストランの間に細い道がのびている。アスファルトで固められていない土の道は緩やかな傾斜の上り坂になっていた。この坂の上には小さな公園がある。そして、そこには……。

大きな樹。

枝を四方に伸ばし、緑の葉を茂らせた大きな樹がある。小学校の三、四年生まで真奈たちとよく公園に遊びに行った。みんな、大樹がお気に入り、競って登ったものだ。

あれは、今と同じ夏の初めだった。幹のまん中あたりまで登っていた千穂は足を踏み外し、枝から落ちたことがある。かなりの高さだったけれど奇跡的にムキズですんだ。しかし、その後、大樹の周りには高い柵が作られ簡単に近づくことができなくなった。木登りができなくなると、公園はにわかになつて屈なつまらない場所となり、しだいに足が遠のいてしまった。中学生になつてからは公園のことも、大樹のことも思い出さなくなつた。

それなのに、今、よみがえる。

大きな樹。卵形の葉は、風が吹くとサワサワと優しい音を奏でる。息を吸い込むと、緑の香りが胸いっぱい満ちてくる。

千穂は足の向きを変え、細い道を上る。どうしても、あの樹が見たくなつたのだ。塾の時間が迫っていたけれど、我慢できなかった。ふいに鼻腔をくすぐった緑の香りが自分を誘っているように感じる。大樹が呼んでいるような気がする。

⑤ だけど、まだ、あるだろうか。とつと切られちゃったかもしれない。切られてしまつて、何もかもかもしれない。

心が揺れる。ドキドキする。

「あっ！」

叫んでいた。大樹はあった。四方に枝を伸ばし、緑の葉を茂らせて立っていた。昔と同じだった。何も変わっていない。周りにもうけられた囲いはぼろぼろになって、地面に倒れている。だけど、大樹はそのまままだ。

千穂はカバンを放り出し、スニーカーを脱ぐと、太い幹に手をかけた。あちこちに小さな洞やコブがある。登るのは簡単だった。まん中あたり、千穂の腕ぐらいの太さの枝がにゅっと伸びている。足を滑らせた枝だろうか。よくわからない。枝に腰かけると、眼下に街が見渡せた。金色の風景だ。光で織った薄い布を街全部にふわりとかぶせたような金色の風景。そして、緑の香り。

そうだ、そうだ、こんな風景を眺めるたびに、胸がドキドキした。この香りを嗅ぐたびに幸せな気持ちになった。そして思ったのだ。あたし、絵を描く人になりたい。

理屈じやなかった。描きたいという気持ちが突き上げてきて、千穂の胸を強く叩いたのだ。そして今も思った。描きたいなあ。

今、見ている美しい風景をカンバスに写し取りたい。

画家なんて大仰なものでなくていい。絵を描くことに関わる仕事があった。芸術科のある高校に行きたい。けれど母の美千恵に言い出せなかった。母からは、開業医の父の跡を継ぐために、医系コースのある進学校を受験するように言われていた。祖父も医者だったから、一人娘の千穂が医者を目指すのは当然だと考えているのだ。芸術科なんてとんでもない話だろう。

絵描きになりたい？ 千穂、あなた、何を考えているの。絵を描くのなら趣味程度にしときなさい。夢みたいなこと言わないの。

そう、一笑に付されるにちがいない。大きく、深く、ため息をつく。

お母さんはあたしの気持ちなんかわからない。わかるうとしない。なんでもかんでも押しつけて……あたし、ロボットじゃないのに。ざわざわと葉が揺れた。

そうかな。

かすかな声が聞こえた。聞こえたような気がした。耳を澄ます。

そうかな、そうかな、本当にそうかな。

そうよ。お母さんは、あたしのことなんかこれっぽっちも考えてくれなくて、命令ばかりするの。

そうかな、そうかな、よく思い出してごらん。

緑の香りが強くなる。頭の中に記憶がきらめく。

千穂が枝から落ちたと聞いて美千恵は、血相をかえてとんできた。そして、なきながら千穂を抱きしめたのだ。

「千穂、千穂、無事だったのね。よかった、よかった。生きていてよかった」

美千恵はぼろぼろと涙をこぼし、「よかったよかった」と何度も繰り返した。

「だいじな、だいじな私の千穂」 そうも言った。母の胸に抱かれ、その温かさを感じながら、千穂も「ごめんなさい」を繰り返した。ごめんなさい、お母さん。ありがとう、お母さん。

思い出したかい？

うん、思い出した。

そうだった。この樹の下で、あたしはお母さんに抱きしめられたんだ。しっかりと抱きしめられた。

緑の香りを吸い込む。

これから家に帰り、ちゃんと話そう。あたしはどう生きたいのか、お母さんに伝えよう。ちゃんと伝えられる自信がなくて、ぶつかるのが怖くて、お母さんのせいにして逃げていた。そんなこと、もうやめよう。お母さんに、あたしの夢を聞いてもらうんだ。あたしの

【E】であたしの未来を決めるんだ。

大樹の幹をそつとなでる。

ありがとう。思い出させてくれてありがとう。

樹はもう何も言わなかった。

風が吹き、緑の香りがひととき、濃くなった。千穂はもう一度、深くその香りを吸い込んでみた。

（あさのあつこ『みどり色の記憶』）

*反芻……くり返し考えること。 *鼻腔……鼻の中

問一 ——線部1～5のカタカナの部分に漢字に直し、漢字はひらがなで読みを答えなさい。

問二 【A】～【D】にあてはまることばとして適当なものを次のア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号は二度使えません。

ア もちろん イ まだ ウ やつぱり エ あるいは オ けつきよく

問三 ——線部①「真奈がぼそりとつぶやいた」とありますが、このときの真奈の気持ちを説明したものと最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 自分で決めた進路でも自信はなく、誰かに後押ししてもらいたい気持ち。

イ 自分の思いを一番に聞いてもらいたい一方で、はずかしくもある気持ち。

ウ 自分勝手な夢で反対されると分かっていて、ためらっている気持ち。

エ 自分だけ進路を決めるのがぬげがけをするように、うしろめたい気持ち。

問四 ——線部②「きっぱりと言いきった」とありますが、このときの担任の教師の思いを説明したものと最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 高校受験は生徒と担任で決めなければならないため、早く考えをまとめてほしいとお願いしている。

イ 高校受験は生徒を正しく導く必要があるため、担任の考えが間違っていないことを印象づけている。

ウ 高校受験は生徒の将来に繋がるため、生徒自身が向き合わなければならないことを訴えかけている。

エ 高校受験は生徒の人生を決めることになるため、担任は決定する権利がないことを念押ししている。

問五 ——線部③「心底から感心してしまう」とありますが、千穂がそのように思ったのはなぜですか。最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 同じように悩んでいたはずの真奈が先に進学先を決めた様子に、自分も負けてはいられないと思ったから。

イ 自分で決めた夢に向かって行動を起こしていた真奈の話に驚き、立派だと思ふ気持ちがわき起こったから。

ウ 担任の助言を受けてすぐに受験校を決めた真奈の行動力に感動し、自分にはできないことだと思ったから。

エ 困難を乗り越えて自分の進路を見つけた真奈と自分とを比較し、その違いに驚きを隠せなかったから。

問六 ——線部④「うつむいて、そつと唇を噛んだ」とありますが、そのときの千穂の様子を説明したものと最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 夢を語り合いたいと思う気持ちで胸が一杯になり、言葉を発せられなくなっている。
- イ 夢を叶えられない理由を話せない自分にあきれ、話をしない方がいいと思っている。
- ウ 夢を思い描くことができない身の上をうらみ、次の言葉を告げられなくなっている。
- エ 夢を語ることができない自分のふがいなさに落ち込み、なにも言えなくなっている。

問七 ——線部⑤「心が揺れる。ドキドキする」、⑥「胸がドキドキした」について、それぞれの「ドキドキ」した気持ちを説明したものと最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ⑤
 - ア 不安より期待に満ちあふれている。
 - イ 期待と不安で落ち着かずにいる。
 - ウ 不安で悪い予感がしている。
 - エ 少しずつ不安が大きくなっている。
- ⑥
 - ア 季節による風景の変化が待ち遠しくなっている。
 - イ 期待通りの風景に出会えたことに感動している。
 - ウ 記憶の中の風景と全く変わらないことに驚いている。
 - エ 風景に呼び起こされた気持ちが抑えられないでいる。

問八 ——線部X「一笑に付される」、Y「ひときわ」の本文での意味として適当なものを次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-----------|----------------|--------|--------|
| X 一笑に付される | ア ばかにして相手にされない | Y ひときわ | ア 少しだけ |
| | イ にこやかにごまかされる | | イ だんだん |
| X 一笑に付される | ウ うわべだけほめられる | Y ひときわ | ウ 一気に |
| | エ 冷たく接して評価されない | | エ いっそう |

問九 ——線部⑦「大きく、深く、ため息をつく」とありますが、このときの千穂の考えを次のようにまとめました。(a)・(b)に入ることをそれぞれ指定の字数以内で本文から探し、そのまま書きぬきなさい。()・()は字数に数えます。

母は、(a 十五字以内) がしたいという自分の夢をわかってせす、母の考えを (b 五字以内) ていると、千穂は考えている。

問十 「E」にあてはまることばを本文から二字で探し、書きぬきなさい。

問十一 ——線部⑧「思い出させてくれてありがとう」について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。()・()は字数に数えます。

- (1) 思い出した内容について書かれているところを本文から探し、はじめと終わりの五字を書きぬきなさい。
- (2) 思い出した記憶によって、千穂は母のことをどのように考えるようになりましたか。解答らんに続くように、本文のことばを使って二十五字以内で答えなさい。()・()は字数に数えます。

問十二 ——線部⑨「千穂はもう一度、深くその香りを吸い込んでみた」とありますが、これを説明したものとして最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 風景や緑の香りは母と自分を結びつけていたものであったことを思い出し、その香りを吸い込むことで、もう一度母のことを信じるよう自分に言い聞かせようとしている。
- イ 大樹の香りを吸う機会がなくなったことが夢を失う原因であったと気づき、自分の夢を伝える前にその香りをもう一度吸い込むことで、母に立ち向かうエネルギーをもらおうとしている。
- ウ 大切なことを思い出させてくれた風景や緑の香りは、かつて自分を幸せな気持ちにしてくれた夢の原点であり、その香りをもう一度吸い込むことで、再び背中を押してもらおうとしている。
- エ 母の本当の気持ちも思い出したからこそ、母と自分を結びつけてくれた緑の香りを何度も吸い込むことで、自分を応援してもらうための方法を見つけ出そうとしている。

問十三 本文の表現上の持ちようとして正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 視覚や聴覚や触覚など、主人公が五感を使って風景を感じ取っている様子が描かれている。
- イ 会話や心情描写を重ねることで、主人公が決心するまでの過程が分かるようになっている。
- ウ 主人公とは違う視点で語られることで、登場人物の気持ちに共感できるようにしている。
- エ たとえや擬音語を効果的に使って、風景がリアルに感じられるように表現されている。

【I】

顕微鏡で虫を見ると、虫が十倍に大きく見えます。すると何が起こるか。その虫は十倍の拡大率で見ればよく見えるけれど、他の虫はその分ぼける。だからその虫以外の世界は、十倍ぼけてしまうのです。

じゃあ、他の世界も十倍で観察しよう。そうやって何かを精密に調べると、調べた分だけ、世界が莫大はくたいになっていきます。倍率を上げていけば、世界はますます大きくなっていく。百倍にすると、一センチの虫は一メートルになってしまふ。

① 星の観察も同じです。ある星を望遠鏡で百倍に拡大すると、宇宙は百倍になる。他の星もその精度で見なきゃいけなくなりますから。すべての星をそうやって観察できるでしょうか。

精密に調べればそれだけ問題は増えていきます。いくら調べたってキリがない。世界はそれだけ複雑にできているのに、意識はそれを単純化して説明しがります。

科学なんて「こういう前提で、こういう結論にしておきましょう」と言っているにすぎません。だから、前提が変われば結論なんて簡単に変わる。② 「これは正しい」という科学者は信用できません。

現代のデジタル機器は、十倍、百倍どころの話じゃありません。カメラで対象を拡大すると、ピントがぼける部分が出てきます。ところがパソコンで合成すると、全体でピントが合った虫の拡大像ができあがります。これをどう考えたらいいのかわかりません。

そのうち筑波大学准教授の落合陽一氏の「デジタルネイチャー」という言葉に出合って、なるほどと感心しました。コンピュータによって合成された画像ですが、ぼけていない。これは拡大した自然の姿と言っているにすぎません。デジタル機器のおかげで、私たちの目はよくなったのです。

私も、虫を見るときデジタル機器の恩恵に与っています。デジタル機器で、複雑な世界を精密に見ることができるようになりました。しかしそこで使われているテクノロジーは、あくまでホジョ器具です。その手前には、生身の虫があります。コンクリートの都会にいたままでは、いくら高性能の顕微鏡があっても、虫を見ることはできません。

私の唯一の財産は、自分で作った虫のビヨウホンです。すべて箱根の家に置いてあります。もともと、ビヨウホンにカビが生えないように、エアコンで室内の湿度をコントロールできるようなセッケイで作った家ですが、十年経ったときにエアコンが壊れました。やはり、手間を省いてカンリしようという考えはよくなかったようです。

ある人が、「フラスナー付きのビニール袋に脱酸素剤を入れておけば、カビも生えないし十年保ちますよ」と言うからそうしたこともありました。でもそうすると、今度は簡単には開けられなくなります。だから絶えず観察して、カンリする方法が一番いい。 A

【II】

パソコンやスマートフォンに象徴されるように、脳化社会はますます進行しています。コンピュータとは何なのか。おそらく一番新しく脳の中にできた計算機能を最大限に使って、外へさらに広げたものでしょう。

最近ではAIが人間の仕事を奪うなんてことがよく言われます。どうしてそういう発想になるのか。③ コンピュータにできることを人間がする必要はありません。百メートル走をオートバイと競う人がいないのと同じです。

計算するのに特化したアルゴリズムで動く機械と、人間が競う必要はありません。人間がコンピュータと将棋を指して負けたからって、コンピュータが偉いわけではありません。それならクルマもオートバイも偉いことになります。

脳とAIの最大の違いは、身体があるかないかです。脳は身体の一部です。身体がなければ、できないことはたくさんあります。計算だけでできる仕事は、AIにやってもらえばいいでしょう。経済的、合理的、効率的であればいいからです。

銀行が今後十年で数十万人リストラすると言っています。その数十万人は、コンピュータが進化するとリストラされるような仕事をやらされていく。これをおかしいと思わないのは、脳化社会の住人になっていく証拠です。

毎日コンピュータを触っていれば、コンピュータに似てきます。④ 判で押したような対応をするようになってきたのも、コンピュータに似てきたからです。

歌を歌うとき、昔は、ギターを持った人が歌に合わせて伴奏してくれました。キーが狂ってもテンポが遅れても上手に合わせてくれます。ところがいまは、カラオケの機械に私たちが合わせて、点数までつけてもらって喜んでいきます。

AIが人間に似てくるといふ人は、人間は融通が利く生き物だということをお忘れしています。機械は融通が利きませんから、人間が機械に似てきている。融通を利かせながら、融通が利かなくなっているのが現代人です。

「テクノロジーの変化は必要ですか？」と聞かれることがあります。若い人は絶えず何か知らないことを知ろうとします。「どんな意味があるのか?」「それは必要か?」「それは役に立つのか?」。そういう根本的な問いを立ててしまうと、何もなくなっていいという結論になります。そんなことを追求しても仕方ありません。

社会はどんどん至れり尽くせりになりましたが、人間は怠けます。人間は合理的にできていますから、使わないものは省略するのです。都会にいと知らないうちに便利になるので、何が本当に必要なかがわからなくなりました。

私が「田舎へ行き、自然を相手にしよう」と言うのは、不自由な暮らしをすれば必要なものがわかってくるからです。本当に必要なものというのは大して多くありません。自由な暮らしをしていると、なんでも手に入ると勘違いするから、要求ばかりが大きくなるのです。

⑤ ツイッターやフェイスブックを見ると、「ああ、脳の排泄器官が増えたんだ」と感じます。それで「データを奪われる」と言っている、血が取られるわけじゃありません。意識の世界、意味の世界がすべてだと思っただけから、データを取られると自分を失うように思っただけのようです。

(養老孟司『ものがわかるということ』)

*AI……人工知能。

*アルゴリズム……問題を解決するための手順や計算方法。

*リストラ……会社の経営悪化を理由として人員を削減(解雇)すること。

*ツイッターやフェイスブック……登録された利用者同士がインターネット上で交流できるサービス。

問一 線部1～5のカタカナを漢字に直し、漢字はひらがなで読みを答えなさい。

問二 線部①「すべての星をそうやって観察できるでしょうか」とありますが、ここで筆者が言おうとしているのはどういうことですか。最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 望遠鏡は、それぞれの星が同じように拡大されて見えるため、どの星も観察することができるということ。
- イ 望遠鏡は、周囲も拡大されて見えてしまうため、同時にすべての星を観察することはできないということ。
- ウ 望遠鏡を使うとき、宇宙全体に合わせた拡大率にしなければ、どの星も観察することができないということ。
- エ 望遠鏡を使うとき、星に合わせて細かく拡大率を変えれば、すべての星を観察することができるということ。

問三 線部②『これは正しい』という科学者は信用できません」とありますが、筆者がこのように言う理由を、本文のことはを使って解答らんに合うように四十五字以内で説明しなさい。()。」「は字数に数えます。

問四 線部③「デジタル機器のおかげで、私たちの目はよくなったのです」とありますが、これを説明した次の文の(1)～(3)にあてはまることばを本文からそれぞれ漢字二字で探し、書きぬきなさい。

現代のデジタル機器は、それぞれの(1)にピントを合わせた画像を(2)し、すべてにピントが合った拡大像を作り上げることができるので、それによって私たちは、自然の姿をより(3)に観察できるようになったということ。

問五 線部④「コンクリートの都会にいたままでは、いくら高性能の顕微鏡があっても、虫を見ることはできません」と筆者が考えるのはどうしてですか。理由を説明したものとして最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 生きた虫がいるところにおもむき、自らの手でふれてこそ、すぐれた道具はいかされるから。
- イ 都会に生息する虫は限られ、研究もしつくされていくため、すぐれた道具は必要ないから。
- ウ すぐれた道具を持っていても、都会には虫が生きておらず、使う機会が限られてしまうから。
- エ すぐれた道具を持っていても、生きている虫を集めなければ、本物の研究とは言えないから。

問六 Aに入ることばを本文から漢字二字で探し、書きぬきなさい。

問七 線部⑤「コンピュータにできることを人間がする必要はありません」とありますが、このことについて次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 「コンピュータ」と「人間」の違いについて、筆者がどのように考えているかを表にまとめました。(1)～(3)にあてはまることばを線部⑤よりあとの本文から探し、それぞれ指定の字数で書きぬきなさい。()。」「は字数に数えます。

	コンピュータ	人間
特性	物事を経済的・合理的・効率的に行うもの。	物事に対して(1)五字()生き物。
向いている仕事	(2)八字()仕事。	(3)十二字()仕事。

(2) 筆者が考える「人間がする必要」がない仕事の具体例として最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 書店で、来店する中学生に好きな本のアンケートをとり、そのなかから小学生にすすめたい一冊を選ぶ。
- イ 書店で、夏休みによく売れる本を集計し、それらを中心に置いて夏らしくかざった特別コーナーを作る。
- ウ 書店で、曜日と時間ごとの来客数の平均をとり、そこから時間ごとに店内に必要な店員の数を算出する。
- エ 書店で、週ごとの本の販売数をまとめ、よく売れている分野の関連本を幅広く仕入れて見やすく並べる。

問八 線部⑥「判で押したような対応をする」とありますが、「判で押したような」の使い方として適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 病院では日々、判で押したような診察をすることが大事だ。
- イ 私はいつも、判で押したような勉強をすることになっている。
- ウ 退職後の父は、判で押したような毎日に退屈しているようだ。
- エ おだやかで判で押したような生活が続く、私はとても幸せだ。

問九 線部⑦「自由な暮らし」とは、ここではどのような暮らしを指していますか。次の(1)～(2)にあてはまることばを本文からそれぞれ漢字二字で探し、書きぬきなさい。

なんでも手に入る(1)での(2)な暮らし。

問十 線部⑧「データを取られると自分を失うように思ってしまう」とありますが、それはどうしてですか。理由を説明した次の文の(1)～(2)にあてはまることばを文章【II】から探し、それぞれ指定の字数で書きぬきなさい。()。」「は字数に数えます。

現代では(1)十二字()を使ったコミュニケーションが増えたため、それに書き込んだ情報が自分の(2)三字()であるように思ってしまうから。

問十一 文章【I】・【II】に共通する考え方として最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 現代は、人間の弱点をおぎなうような技術が次々に開発され、人間の知覚の限界をこえる技術が生み出されると期待できる。
- イ 現代は、人間の「脳」の機能をさらに高度にしたコンピュータが、人間の仕事や楽しみを奪ってしまう危機に直面している。
- ウ 現代は、人間が開発した技術により効率よくものごとを行えるが、人間ができることは機械まかせにしないほうがうまくいく。
- エ 現代は、人間の「脳」の機能や意識の世界が重視されているが、時間がかかっても身体を使って行うことにこそ価値がある。

1	クチヨウ	2	テ	3	ミナ	4	ムキズ	5	血相
---	------	---	---	---	----	---	-----	---	----

問一

問二 A

B

C

D

問三

問四

問五

問六

問七 ⑤

⑥

問八 X

Y

問九 a

b

問十

問十一 (1)

(2)

問十二

問十三

と考えるようになった。

1	ホジョ	2	ヒョウホン	3	セツケイ	4	省	5	カンリ
---	-----	---	-------	---	------	---	---	---	-----

問二

問三

科学は、

から。

問四 1

2

3

問五

問六

問七 (1)

2

3

(2)

問八

問九 1

2

問十 1

2

問十一

受験番号
得点

問一	1 クチヨウ	口調
	2 テ	照れて
	3 ミナ	見慣れた
	4 ムキズ	無傷
	5 血相	けっそう

問二	A	イ
	B	エ
	C	ア
	D	ウ
問三		イ
問四		ウ

問五	イ
問六	エ
問七⑤	イ
問八X	ア
問九	Y
	エ

問九 a	仕事	絵を描くこと
		とに
		関わる
問十	意志	
		b 押しつけ

問十一 (1)	千穂が枝か
	(2)
	母は自分のこと
	を考
	え
	温かさを感じ
	と考えるようになった。

問十二	ウ
問十三	ウ

問一	1 ホシヨ	補助
	2 ヒョウホン	標本
	3 セツケイ	設計
	4 省	はぶいて
	5 カンリ	管理

問二	イ
----	---

問三	科学は、
	複雑な世界を相手に
	一つの前提で結論を
	ついでに
	提議する
	ぎざぎざ
	を答えて
	断定的にする
	を断つ
	ないから。

問四 1	対象
2	合成
3	精密
問五	ア
問六	手間

問七 (1)	1	融通が利く
	2	計算だけ
		でき
		る

3	身体が
	な
	い
(2)	ウ

問八	ウ
問九 1	都会
2	便利

問十 1	パソコンやスマートフォン
2	パソ
	ン
	コ
	ン
	ヤ
	スマ
	ー
	ト
	フ

2	すべて
問十一	エ

受験番号
得点